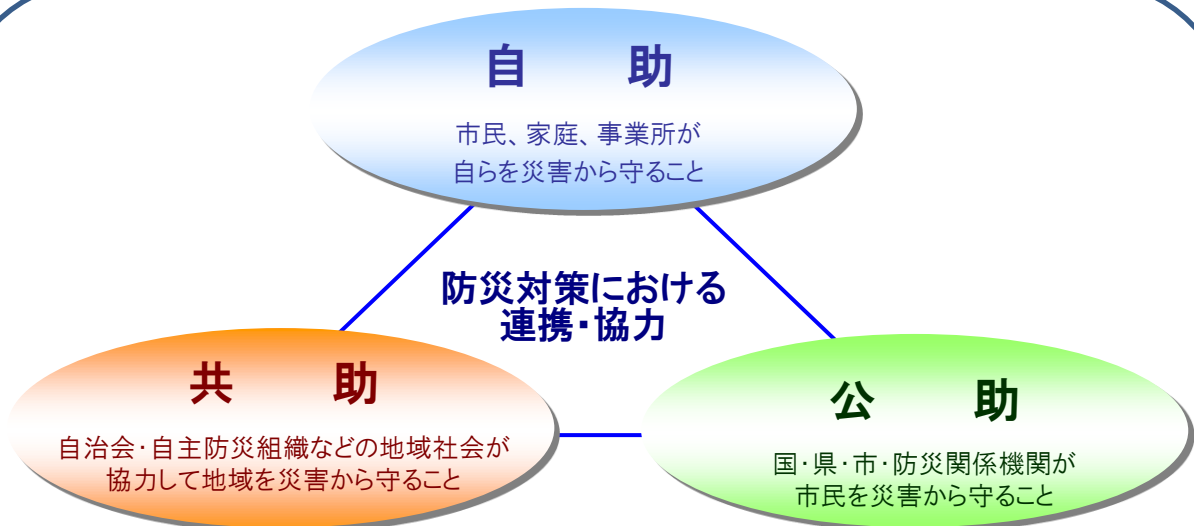


ぼうさい あびこ①

災害が発生したときは、「自らの生命は、自らが守る」、「自分たちのまちは自分たちで守る」との考えに基づき、家族や自治会・自主防災組織などが中心となった行動が必要です。



◆自助・共助・公助の割合とは

平成7年に発生した阪神・淡路大震災において、倒壊家屋からの救出を誰が行ったかを調べたところ、「自力・家族」(自助)が67%、「友人・隣人」(共助)が31%、「救助隊」(公助)が2%であったことから※、自助・共助の重要性があらためて認識されるとともに、**自助・共助・公助の割合を7:2:1としています。**

※日本火災学会:1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書

自助が重要！

自らの命を自ら守るため、次の準備をして、災害に備えましょう。

- 建物の倒壊、落下物による被害を防止するため耐震化、室内の安全対策を行う
- 災害が発生した場合に自力で生き抜くための備蓄を行う
- 地域の災害危険箇所、避難場所、避難経路、災害履歴などの知識を把握する
- 災害発生時の安全かつ適切な行動を把握する
- 自主防災組織の防災訓練など地域の防災活動（共助）に参加する

防災行政無線の放送内容をメールで配信しています。防災行政無線が聞き取りにくい方は、ご利用ください。下記QRコードから空メールを送信し、登録手続きをすると、配信されます。



緊急情報はフリーダイヤルでも防災行政無線と同じ内容を確認できます。

フリーダイヤル 0120-031-676